

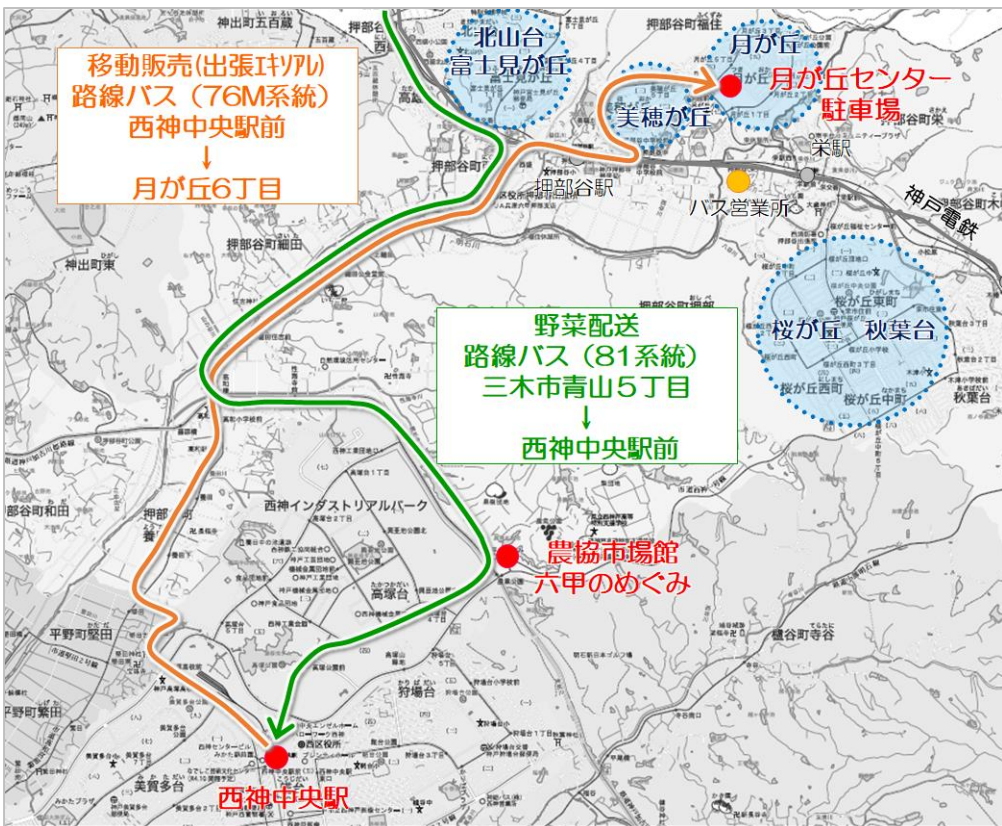
既存のバス路線を活用した貨客混載プロジェクト

■背景・目的

人口減少、少子・高齢化の進行などにより、郊外を走る路線バスの輸送需要が減少しています。また、郊外に開発されたニュータウンでは、身近な生活利便施設の衰退、地縁的つながりの希薄化による地域コミュニティの衰退等が懸念されています。

この取り組みは、路線バスが地域の足として重要な役割を担い続けていくため、モノの運搬による新たな収入源を得ることでの路線の維持、また、地域にとって必要な生活サービスの充実並びに地域コミュニティの活性化を目的としています。

■事業の場所（神戸市西区押部谷地域）



■事業の内容

再開 移動販売（出張エキソアレ）

新たな収入源の創出（公共交通の維持）

西神中央駅

eki soare
エキソアレ西神中央

店舗営業者（テナント）
商品提供
パン、スイーツ、和菓子
惣菜、日用品等

商品

路線バスとして運行（人と商品を輸送）

買い物支援

郊外団地

住民に販売
生活サービスの充実
地域コミュニティの活性化

▲移動販売のバスのレイアウト

NEW 商品配送（予約販売）

新たな収入源の創出（公共交通の維持）

西神中央駅

eki soare
エキソアレ西神中央

神戸珈琲物語
食パン、ぶどうパン

商品

路線バスとして運行（人と商品を輸送）

バス停

地域福祉センター

地域福祉センター

受取

販売

本格運行 野菜配送

新たな収入源の創出（公共交通の維持）

西神中央駅

eki soare
エキソアレ西神中央

旬菜みやこ
店内で調理し提供

野菜

路線バスとして運行（人と野菜を輸送）

配送手段の転換

六甲のめぐみ（野菜直売所）

▲野菜配送の車内の様子

六甲のめぐみ（出典:JA兵庫六甲HP）